

経営比較分析表（平成30年度決算）

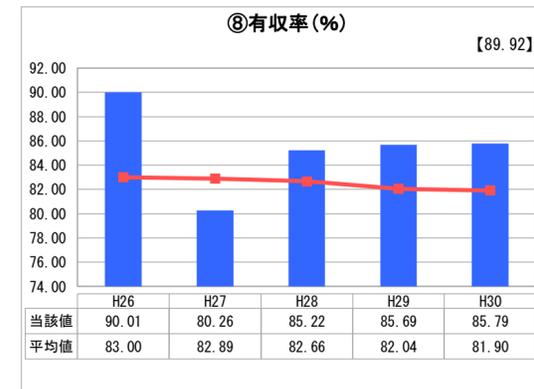
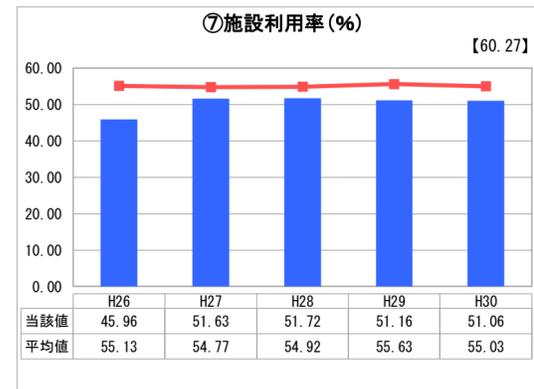
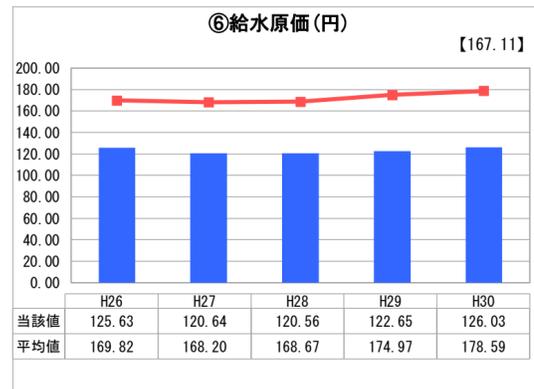
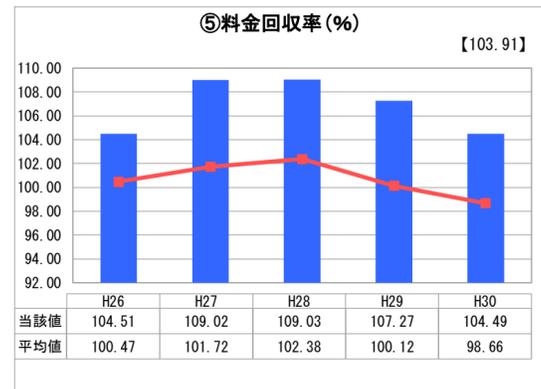
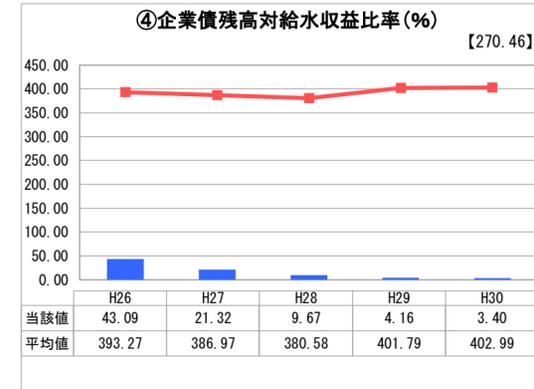
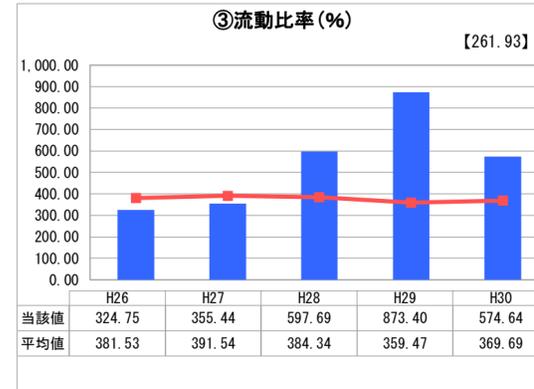
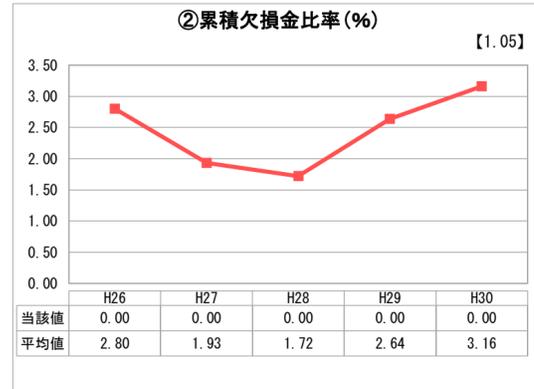
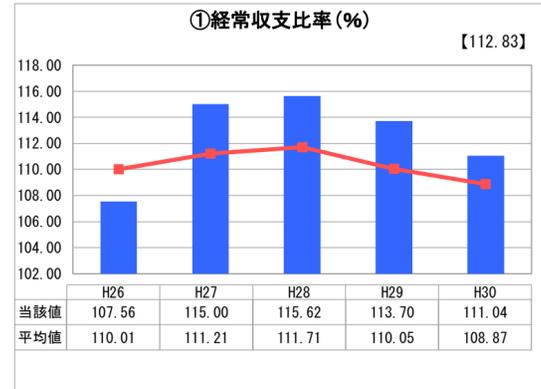
岩手県 金ケ崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	97.22	97.69	2,516	

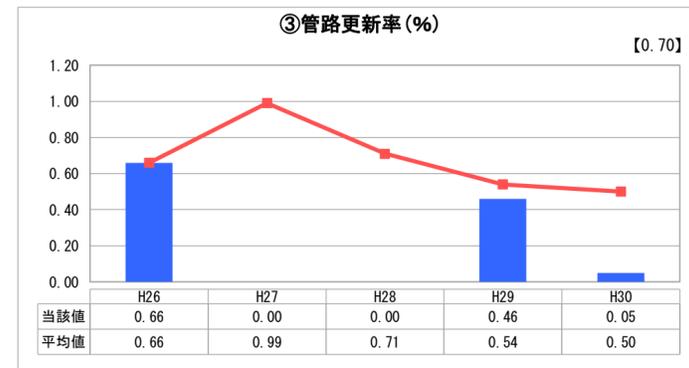
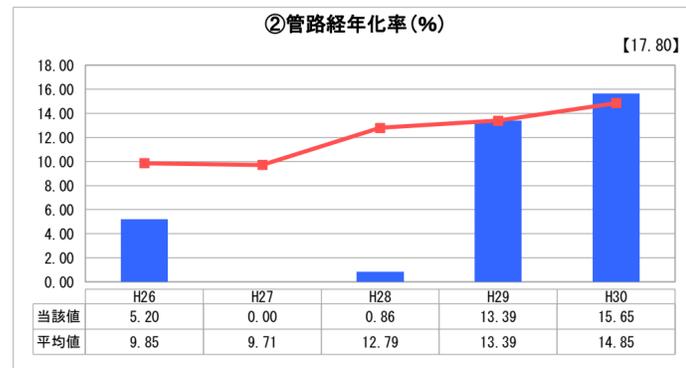
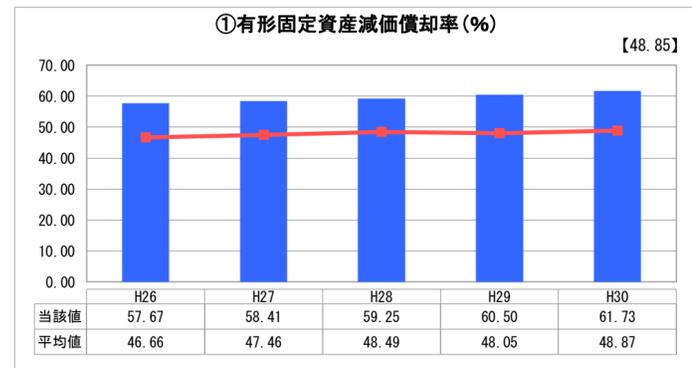
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,644	179.76	87.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,210	63.31	240.25

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており累積欠損金も発生しておらず経常黒字を維持した経営を行っている。流動比率に関しては、類似団体や全国平均より高い水準となっており、企業債残高対給水収益比率についても、類似団体及び全国平均を大きく下回り、減少傾向にある。今後も企業債残高の削減に努めていく。

給水原価は類似団体及び全国平均を下回り、供給単価は給水原価を上回っており収入を確保できている。さらに、料金回収率が100%を超え、給水費用を料金収入により賄っている状況からも、健全経営を維持できているといえる。

施設利用率については工業用等の水需要が減少しているため休止施設が多くなっている。休止施設への費用削減及び廃止に向け検討を行っていく必要がある。

有収率については、漏水の影響により全国平均を下回っているため、老朽管の更新等により漏水防止を徹底し改善に努める。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率は、全国平均を下回っているが、類似団体を上回っている。減価償却率も全国平均及び類似団体を上回っており、更新時期が迫ってきている。以上のことから計画的な施設の更新に向け検討を行っていく必要がある。

全体総括

全国の類似団体と比較して健全な指標を維持できていることから、安定した経営が行われているといえる。

しかし、今後給水人口の減少や節水傾向が進み、水需要は減少していくことが見込まれる一方、施設の老朽化への計画的な対応が必要になってくる。今後10年を見通して策定する基本構想による効率的な施設利用と計画的な更新などにより、健全経営を維持していく必要がある。